號外

な回答に憤慨した本部員は、唖然として言辭が出ない程であつた。兎に角事件の眞相は明白になつた
屈服に屈服を重ねて餓死するか！

兩常任に急電

ガン首並べて決戰するか！　二途あるのみだ！
と直に本部の緊急執行委員會に臨んだ

大阪自助會大會のため下阪した赤城、佐野兩常任に對して二日午後二時『重大問題起るすぐ返れ』の急電を發送した

俄然各支部に一大動搖を起す

賞與二割削減及昇給無期停止の報各支部に傳はるや一大動搖を起し全支部職場に猛烈なる反對氣勢は擧がり、自動車部及運轉各支部では職場内に轟々たる有樣のため取締が既に各交番に際し萬足な運轉もなし得ない情勢に置かれてゐる又工場、軌道、電力、車庫等全部非常の大衆も今度こそは負けて居られんと猛然として起ち上り各支部より本部に對する激勵や支部大衆の蹶起の情勢は續々と報告されかけ本部幹部はドシ／＼本部に押しかけ本部も曾てない異状なる緊張を示し今度こそはの決意に燃えてゐる。

緊急執行委員會急據開催さる

十二月二日局長の意圖を知悉した本部員は直に本部に引上げ午後三時緊急執行委員會を開催した。出席者、井淵、神原、中村、山下、柳澤、河野、小宮、佐野、熊本等集合し、柳澤君議長の下に左の事項を協議した。

一、賞與二割削減、昇給無期停止對策に關する件

先ず今回の重大事件を何等の豫告なく疾風的に發表し、しかも電氣局始まつて以來、新任や所長が文書を以て公示せず、口頭を以てやるからには、何等か底に秘そむ魂胆のある事を見極め、徹底なる態度を持して行くべき事を留意し

イ、問題の見透し

今度の事件は單に電氣局のみならず東京市全般の問題であるかぎり、東京市長及び電氣局長を目掛けて決戰すべきこと

ロ、戰時編成

組合内部の統一は、先回の給與制度改惡以來の失敗に鑑み、闘爭基金、連絡の緊密を計ることを協議し

ハ、中央委員會開催

凡ての運動方針を十二月三日午後六時本郷三丁目の佛教青年會館で開く中央委員會にて決定することとにして散會した。

從業員の損失 約九十万圓 當局の嘘言暴露す

賞與二割削減、昇給無期停止の結果、守屋庶務課長は本部執行委員の質問に對して、賞與約四五十萬圓、昇給二十萬圓浮くと發表したが東京交通勞働組合本部の調査に依ると今まで賞與は一年約三百萬圓の豫算であるから二割削減として六十萬圓の不當利得、昇給率では二十萬圓と言ふが實際は三十萬圓位に昇るので、全從業員大衆の損失は、大體九十萬圓となることと判明し、彼等の虚言を弄しつゝあることが早くも明白となり、從業員の不平不滿は益々沸騰しつゝある。

小宮、佐野兩氏 佛教會館に飛ぶ

十二月三日午後六時、緊急中央委員會を本郷佛教會館で開くことに決定したので小宮氏、佐野氏は直に佛教會館に飛び正式に會場借入を契約した。

緊急中央委員會開催

日時　十二月三日午後六時

場所　本郷三丁目佛教會館